

科目名	現代中国論B	科目コード	1528	単位数	2
担当者名	佐藤 千歳	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次

● 授業のねらい

日本の隣人であり、世界第2の経済大国となった中華人民共和国について、1949年の建国以降の歴史を把握します。基本的な歴史知識をもとに、安定的な日中関係を築く妨げとなっている課題を各自で探り、地域の将来像について自分なりの展望を持つことを目指します。

● 到達目標

毛沢東による新中国建国から現在の習近平政権まで、現代中国の歴史の流れを理解し、中華圏出身者より深いコミュニケーションが可能になるような知識を習得します。同時に日中関係の歴史について基本的な知識を習得し、今後の日中関係には多様な可能性が存在することを把握します。

● 授業内容

- 1週目 冷戦と中国建国
- 2週目 国共内戦と戦後復興の歩み
- 3週目 社会主義とはいえなかった中国
- 4週目 社会主義化の過程
- 5週目 文化大革命の背景と破綻
- 6週目 社会主義社会の画一構造
- 7週目 戦後台湾の出発 + テスト
- 8週目 植民地下の香港の役割
- 9週目 改革開放の広がり
- 10週目 天安門事件の背景と影響
- 11週目 冷戦終結が中国に与えた影響
- 12週目 南巡講話と市場経済化
- 13週目 改革開放が社会に与えた影響
- 14週目 「復帰」後の香港
- 15週目 中華民国から台湾へ + テスト
- 16週目 将来の日中交流の方向性。やむを得ず16週までの内容を実施できなかった場合は補講授業

● 準備学習(予習・復習)等の内容

テキストの課題箇所を読み、分からない語句について、高校の歴史教科書、図書館などで調べておく。予習の時間を十分に確保し、要約とコメントを作成する。

講義で配布する復習教材に沿って授業内容をふり返り、次週に提出してください。

● 成績評価の方法・基準

授業中の質問・コメントの頻度と内容（約20%）、課題の内容（約30%）、および各テストの成績（約50%）を総合して評価します。

● 履修上の留意点/課題に対するフィードバックの方法

中国語学習者の履修を勧めます。

前期「現代中国論A」の内容をもとに講義を行います。必ず「A」を履修してください。

復習教材とテストは、毎回の内容について、評価できる点と改善すべき点を個別に指摘します。

● テキスト

久保亨ら編『現代中国の歴史 兩岸三地100年のあゆみ』（東京大学出版会）2800円

「現代中国論A」と同じテキストです。

● 参考書

尾形 勇、岸本 美緒『中国史』（山川出版社）3780円

天兒慧『巨龍の胎動』（講談社） 出版元に在庫がありません。図書館で借ってください

● 更新日付

2019/02/03 08:09